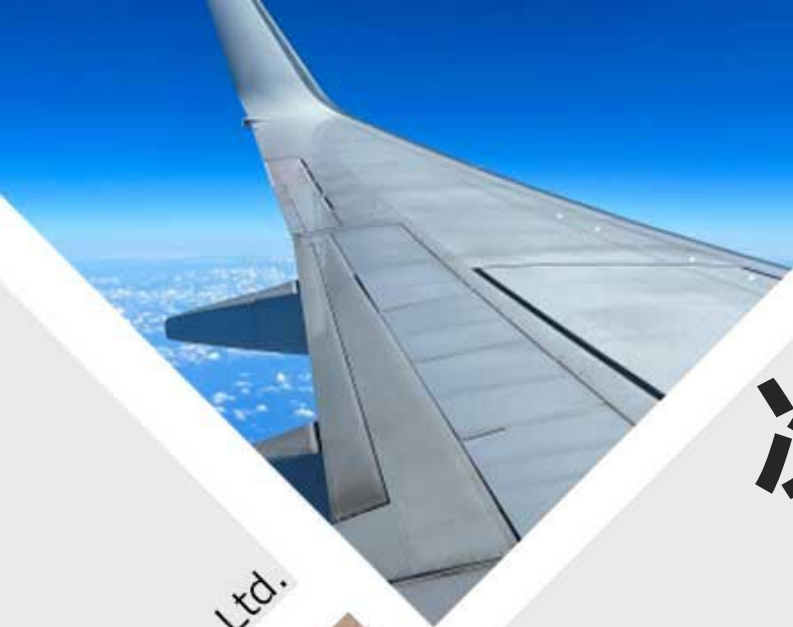


LOUVE Co., Ltd.

次世代宿泊施設 ならびに 次世代宿泊サービス



1. 概要
2. 技術説明
3. サービス例
4. 考察

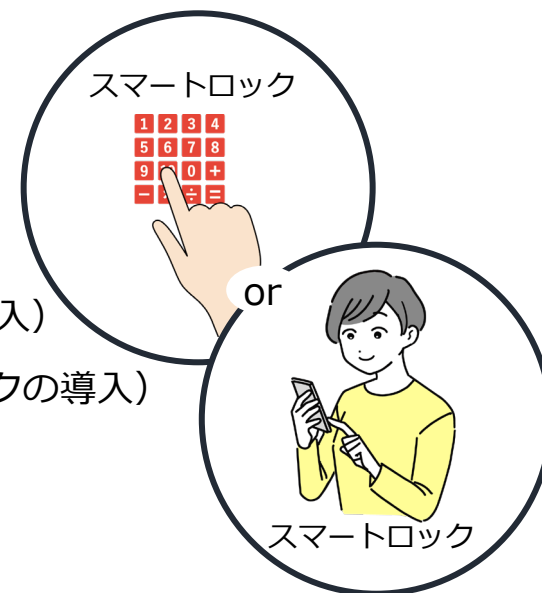
1. 概要

■ 目的

- 宿泊客の利便性および快適性の向上、ならびに他の宿泊施設との差別化

■ 2024年における宿泊業界の現状（運営形態）

- 有人対応型（レセプションでの有人対応によるチェックイン/アウト、ルームサービスの有人対応）
- 省人対応型（備付け端末によるセルフチェックイン/アウト、有償ロッカーによる手荷物のセルフ預入）
- 無人対応型（備付け端末によるセルフチェックイン/アウト）※鍵のD X（右図参照：スマートロックの導入）



■ 宿泊業界の課題

- サービスの質を落とすことなく、人手不足の解消
- 宿泊客の満足度向上に繋がる新規サービスの導入

■ 宿泊業界の目標

- 施設（ハード）とサービス（ソフト）の何れか、もしくは両方による他の宿泊施設と一線を画す差別化の達成

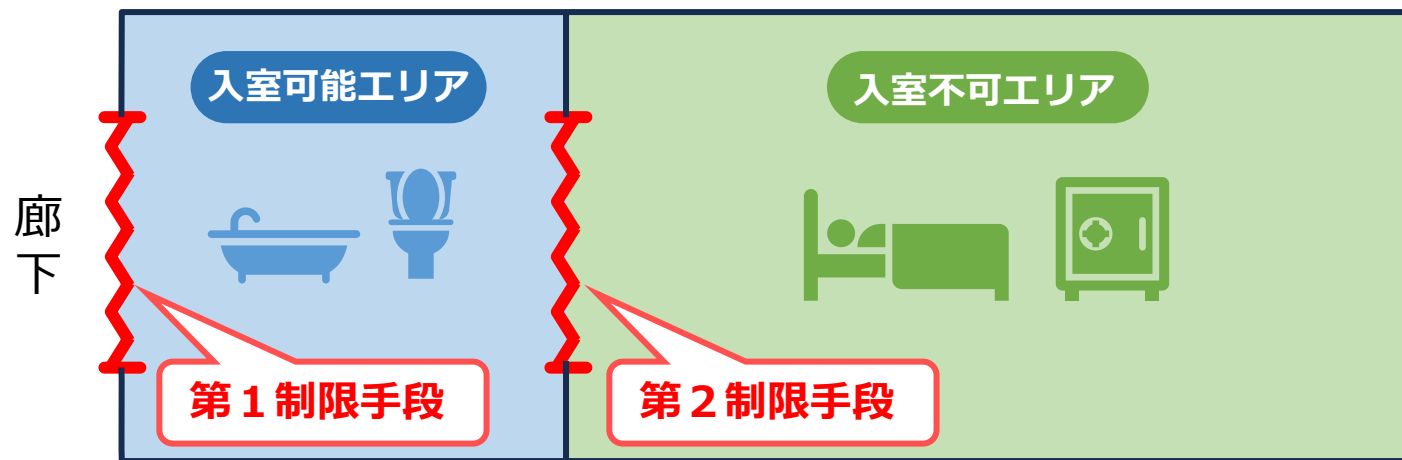
■ コンセプト

宿泊者の在室/不在の如何を問わず非接触によるサービスの享受、ならびにスマホでサービス依頼および完結

2. 技術説明

■ 課題解決ならびに目標達成のために導入するDX技術

※DX技術は、シンプルかつ安価であり、以下の2点で構成される



屋内構造のDX技術

特許登録済み

屋内に、入室する権利を付与された第3者が立入れる入室可能エリアと、第3者の立入りが制限される入室不可エリアとを形成するとともに、上記入室可能エリア内には、プライバシー/貴重品と関係性の低い洗面/浴室/トイレの水回りの何れかを配置。

制限手段のDX技術

特許登録済み

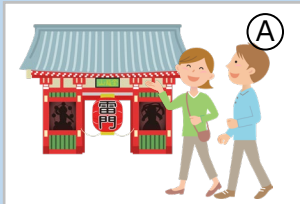
- ルームドアに導入する第1制限手段（スマートロック）
※望ましくは、ワンタイムパスワード搭載機種（設置された端末操作で、スマホすら不要）。
- 第2制限手段（中間扉+鍵、または中間扉+カメラ、或は中間扉+鍵+カメラ）

※サービスは限定されるが、カメラのみとすることも可。
※ワンタイムパスワードは、任意で有効な時間（例えば、2時間）を設定可能である。
したがって、本システムでは、再配達は理論上発生しない（社会課題解決）。

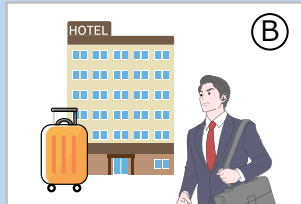
3. サービス例

入室可能エリア

① 宿泊者の在室/不在の如何を問わず非接触による入室可能エリアへの第3者による運入れ、または運出しによる利便性の提供



自宅から手ぶらで直接観光へ
観光から手ぶらで直接自宅へ



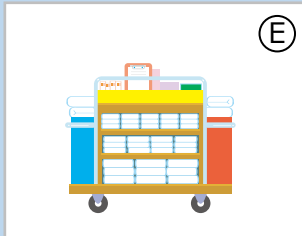
自宅から鞆一つで直接打合せへ
打合せから鞆一つで直接自宅へ



食品の配送



薬の配送



清掃

廊下

音

音

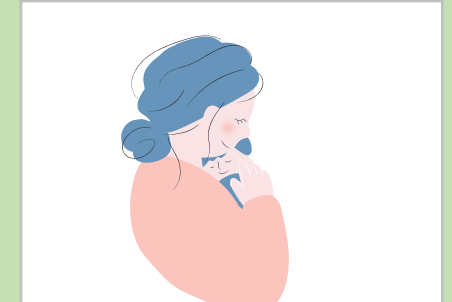
音

入室不可エリア

② 入室エリアにおける在室時の快適性および利便性の享受



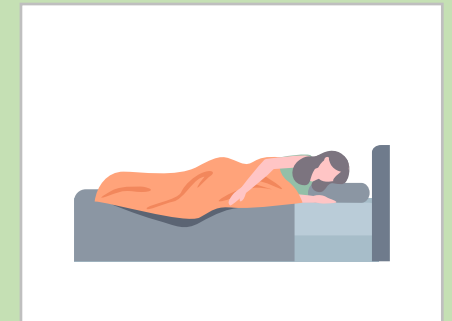
リモートワーク



小児同行



勉強



急な体調不良

4. 考察

■ 宿泊者目線

前項3のサービス④～⑤の利用については、宿泊者様が、時間と場所を問わずに自身のスマホ（オンライン）で依頼し、在室/不在の如何を問わず非接触でサービスを楽しむことができるので、宿泊者様はこの上ない利便性と快適性を享受することができる。

■ 宿泊業者目線

前項3のサービス④～⑤は、何れもオンラインによる外部委託のため、スタッフの新たなオペレーション導入を不要としながら、宿泊者様の満足度向上、ならびに他の宿泊施設との差別化の両方を達成することができると思います。

■ 《需要予測/市場規模》

省人化および無人化された宿泊形態は、日本および外国問わず既に市場に根付いており、またスマホで食品配達を依頼するオンラインサービス⑥についても日本および外国問わず既に市場に根付いているので、日本人ならびに外国人問わず需要は確実にあると考えます。

④⑤のサービスについては、宅配（キャリーケース等）における時間指定サービスで対応することができるので、日本では既に市場に根付いている一方、外国人にとってはアメージングなサービスとして好意的に受け入れられるものと思慮します。

また、上記サービス④～⑤は、言うなれば外部スタッフによるフルサービスに相当するものであり、これらサービス④～⑤を在室/不在の如何を問わず好適に享受可能とする宿泊形態は日本および外国問わず存在しないので、既存の省人化/無人化で開拓済の市場は言うに及ばず、目新しいもの好きの宿泊客、ならびに本システム独自の宿泊形態に意義を見出す日本人および外国人の市場を新たに開拓することができると思慮します。

市場規模

省人化/無人化された宿泊施設が既に全国で展開されているので、これに準ずると考える一方、サービス面については、飲食店/コンビニの充実する都市部の満足度が高くなると考えます。